

明るい話題を探してみました

NPO法人 タウンサポート鎌倉今泉台理事長 丸尾恒雄

会員の皆様、本年も最後の月と成ってしまいましたが、この一年多大なるご支援に対し厚く感謝申し上げます。このところ暗い話題ばかりで、なにか明るい話題を書きたく色々探しておりましたが2、3ご紹介したいと思います。

★今泉小学校6年生修学旅行実施決定：1月21日から一泊2日の予定で日光方面へ修学旅行を実施することに決定したとの記事を読みました。日光旅館組合、旅行会社、保護者会との綿密な協議を経て決定したとのことほんとに良かったと思います。6年間の一番の思い出が修学旅行で有ることは皆さんも経験されたことで、先生方に深く感謝いたします。

★池上彰著「日本のあかるいニュース」：11月発行のこの本は33例の明るいニュースを紹介しており、ほっこりする話題が多く掲載されております。暇を持って余している皆さんご一読をお勧めます。一例をあげると「通学生に駅員が贈る感謝の卒業証書」「女子中学生による手作りマスク支援の和」「従業員8人の町工場フェースシールド1万枚を3日で病院へ」「暖房器具製造大手コロナ社の社長より胸を痛めている社員の子供達へ激励のメッセージ」等皆様にはさわやかな新年をお迎え戴きますようお祈り致しております。

皆さまの憩いの場

いずみサロン

金・土

カフェオープン

午後1時～4時



散歩の途中にどうぞ

★カフェ再開

1/15より毎週金土

■コロナ禍でも、リビングラボ活動実施 ～リモート、アクリル板越し座談会も

TSKIでは鎌倉リビングラボの現場業務を行っていますが、今年4月からコロナウイルス感染者数が増加したため多人数が集まる座談会やワークショップを中止し、感染防止のためリモートでリビングラボ活動を行いました。感染者数が減り始めた10月以降は少人数での座談会・ワークショップも開催しています。リモートでは「コロナ禍の皆さんの暮らし」を同個別インタビューや、「フレッシュママさん応援プロジェクト」として子育て中のママさんの悩みや不安を同アンケートも実施し、その他にも「テレワークでの困りごと」を話し合うワークショップを開催しました。鎌倉リビングラボでは以前から「テレワーク、サテライトオフィス」をテーマとして取り上げ、ホームオフィス用家具の開発やリモートワークの研究も行ってきましたが、このような状況下でこれらがクローズアップされることになりました。「テレワークでの困りごと」のワークショップでは参加者が現役の方ばかりで皆さんリモート会議を使い慣れているせいか、画面上のクリップボードへの書き込み等、様々な機能を使いこなされておりました。ワークショップ後もリモートで懇親会を行いました。最初にそれぞれがグラスに好きな飲み物を注ぎ皆で乾杯しました。リモートではない座談会やワークショップでは密にならないよう参加される方を最大4人までとし、消毒、換気に気を付けて行っています。(写真・文 青木)



■恒例「みどりのレンジャー」協働活動、ついに実施される！

今年は30年来の有識者の努力が実って気候非常事態宣言が大々的に叫ばれる中、7月に毎日雨模様、9～10月の2回とも雨天中止の異常気象を経て、当日は3度目の正直・秋空の下でついに実施出来ました。TSKI・町内会13名、鎌倉みどりのレンジャー12名(内住民2名)、公園協会4名の合計27名が参加。散在ガ池公園・飛地外周を道路から1m程、下草の全面刈り込み、張り出した枝の除伐、アジサイ剪定等を行いました。残材は公園協会が軽トラで手際よく積み込み回収しました。なお平地で安全な場所はレンジャーが刈り払い機で効率良く実施。また3密に配慮しマスク着用でしたが、暫くぶりの作業に汗を流し、休憩タイムの交流を通じてストレスも解消できたと喜び合いました。来年度は10、11月の第3土曜日を予定しておりますので、皆



＜最後に一同でご苦労様！＞

さまも奮ってSDGs 13番「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に向かって是非ご参加ください。更にTSKIでは緑の保全事業として「サクラを守る会」活動に続いて「ヤマユリを守る会」を発足させ散在ガ池公園外周のヤマユリの保全活動(注意用ポールを立てる程度)を実施中ですので、皆様のご協力をお願い致します。(緑の保全活動リーダー：今井、根本、今藤、小林光、国分、柴崎)(写真文：御法川)

■子供たち大集合！

～菜園グループ“芋ほり&焼きいもイベント”



NPO菜園（さわやかセンター横）近くの空き地に子ども達の弾んだ声が聞こえたのは秋晴れの10月末の土曜日の午後でした。秋の収穫期を迎え子ども達が楽しみにしていた焚き火の中での焼き芋挑戦をイベントとして菜園Gの家族と風の子会（児童自主保育の会）にお知らせしたところ大勢の申し込みを受けて急遽2回（24日と31日）に分けて菜園Gのメンバー十数名で準備を始めました。

空き地の地主さんへのお願い、草刈り、整地、焼き芋用の穴掘り、石を並べてのかまどづくり、焚き火用の倒木と落ち葉集め、

消防署への届けと消火器の用意となれない作業に戸惑いながらも何とか間に合いました。

当日は2回とも8家族で20名位の若いパパ・ママ・お子さんが参加されました。最初に菜園で育てている野菜の種類を吉野リーダーが案内説明し、いよいよ芋掘り開始です。スコップを持って掘り始めると大小様々な大きさの芋が現れたり、ミミズや水溜りのおたまじゃくしを見つけてそちらのほう気になる子もあり賑やかです。

自分で掘り当てたサツマイモや里芋を焚き火の中で待つこと暫し。ホカホカに焼きあがった焼き芋を頬張りまた予め用意した甘い大学芋にもあちこちから手が伸びてきます。

2時間ほど楽しんだ後は記念写真を撮り、両親の感想などや子ども達の「有難うございました」との元気な声も聞こえて、お土産の野菜とお芋類を抱えて散会しました。菜園Gのメンバー一同も子ども達の元気さ楽しく励まされた一時でした。（写真・文 柴崎、田中）

■コロナ禍での「いずみサロン」再開

～アクリル板、入念な消毒、検温など

「いずみサロンが皆様方の憩いの場として活用されるにはどうしたらよいか」

何度も理事会で話し合われてきた課題です。コロナ感染拡大を受け、いずみサロンは閉じておりましたが、今度は「コロナ禍でいずみサロンの再開をどうするか。」を考えることになりました。家に引きこもり、人とコミュニケーションが取れないで疲弊していくことが心配でした。「『ここなら、安心。』と思える空間を作ることはできないかしら？」この苦境を切り開いていくためにも、対策を考え再開することにしました。

安心して会話を楽しんでいただくためにアクリル板を購入し、消毒のマニュアルも整えての再開です。感染防止のための念入りな消毒と清掃は、カフェ当番には少し面倒ではありますが、来訪者にも記名・消毒・検温等ご協力いただいて、頑張っています。何よりも、来訪者の皆様とお話し、笑顔で帰る姿に癒されています。

時間貸しをご利用いただいている皆様にも、コロナ感染防止のための消毒・清掃等、ご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

会員の方でいずみサロン利用券をまだ使われていない方は是非お越しください。

<利用の実際>

- ・当番の方が、友人に声をかける。
- ・来訪者が友人に声をかける。
- ・友達同士声かけあって待ち合わせる。
- ・2、3人で打ち合わせや相談の場所として使う。
- ・郵便局に来たついでに久しぶりによってみた。
- ・散歩していたら看板を見かけて寄ってみた。

様々でしたが……

皆様、会話を満喫し、久しぶりの友好を喜んだり、新しい出会いに心が弾んだり……

笑顔で帰られました。人と話をすることの大切を感じさせられました。コロナは社会現象だけでなく、良い意味で人のものの見方や考え方も変えさせたのではないかしら？（文・田中敦子）

最近〇〇さんに会ってないな。電話してみよう！

いずみサロンで当番しているからいらして！

相談・情報交換

入院中の母が……

久しぶりに行ってみよう！

ベジクラブ知ってる？

